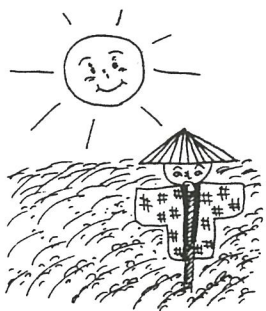


今回の児童・生徒のコーナーは、白浜
小の生徒の作品を紹介します。
(敬称略)

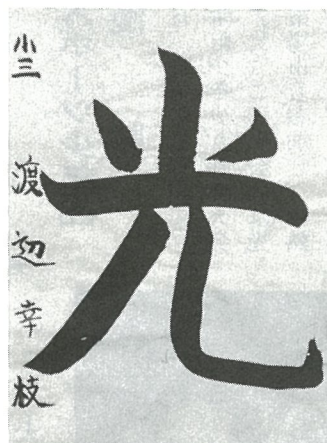


1年
すずき けいこ

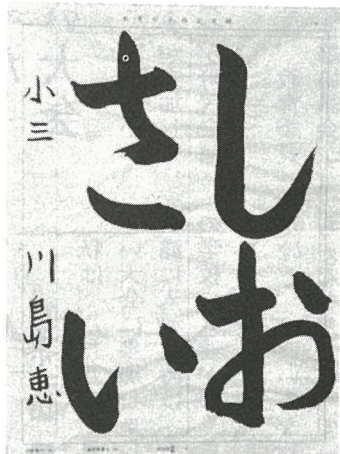
せんせい、あのね、きのう、わたし
は、うちへかえったら、いえのひとか
ら、いぬがこどもをうみましたときき
ました。
とつてもかわいかったです。まだ、目
をつぶっていたので、かおがおもしろ
かったです。
四ひきうまれました。
ねこが三ひきうんだのでたいへんでは
ない。



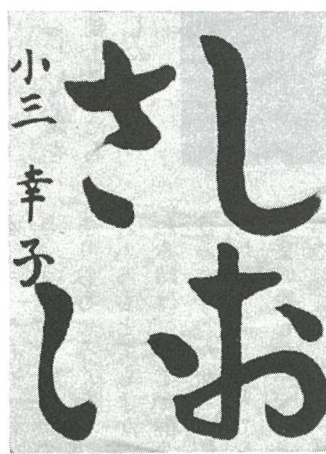
3年
椎名 利香



3年
渡辺 幸枝



3年
川島 恵



3年
伊橋 幸子

ひかり歌壇

鈴木甲子幸
未来都市思わせるが大夜景
三十八階の窓辺より見る

鈴木 恵美
遠き日の夜空を想ふ星祭
幼き夢は憂ひなかり

青柳 フミ
早川の岩囃む瀬音とどろきて
揺るる吊橋肝据え渡る

越川 雪枝
裕福にあらねど事欠くこともなく
老いの坂道夫に副えゆく

伊藤 鏡子
蚊取香焚く部屋くらくランプのホヤ
拭きし 幼な日想ひ出さるる

土屋 好
朝まだき露のしたたる稲の
穂の出初めて白き花の咲きおり

椎名賀代子
真夏日を避けて木蔭の砂山に
遊べる子等の声は弾めり

竹内 紀葉
更くる夜の目覚めつれなし
たのめなき闇に孤独の思索めぐらす